

市報

いしおか

市制施行25周年記念

特 集 号

発行：石岡市役所

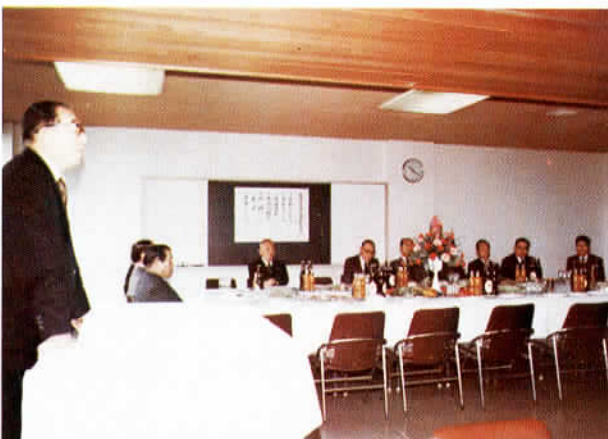
編集：企画室広報公聴係

印刷：長谷川印刷所

昭和54年3月15日



市庁舎も市のシンボルとして完成（昭和49年）



さる2月6日、市民会館において、石岡市史上巻の発刊記念会が行われ、市史編さん専門委員の方々へ市長より感謝状が贈られました。

昔から常陸の国の政治・経済の中心地として栄えてきた石岡は、明治四年の廃藩置県により石岡町として発足以来、明治二一年に築谷、村上を合併、昭和二八年一月には高浜町との合併が成立、翌二九年二月一日町村合併促進法による全国第一番目の市として生まれ、同じ年の一二月には三村・関川を合併、人口は三万六千余となりました。それから二五年を経た今日、柏原工業団地の造成に伴う企業の進出により、商業と農業中心

石岡の昨日・今日・明日

のまちから商工業都市、住宅都市へと発展を続け、県南の主要都市として、各方面から注目を浴びるようになりました。人口も四万七千余と五万人にあと一息、市庁舎も市のシンボルにふさわしく立派に完成、公共下水道事業や学校の増改築工事、図書館の改築、公民館の建設、道路網の整備、史跡公園の整備など市街地の環境整備も着々と進んでおり、新しい住民の流入によりまちのなかは活気に満ちています。

そして、将来の石岡は常磐高速度の開通を控え、また筑波研究学園都市をへて石岡に通ずる第二常磐線構想の実現、大規模な南台団地の開発、駅東地区の区画整理事業など発展する要因をたくさんかかえています。石岡市は、こうした情勢を背景に、理想郷としての新しい都市づくりを目指し、明日に向けて大きく飛躍しようとしています。

市制施行25周年記念発刊 好評な石岡市史(上巻)

市の歴史書として、家の宝としてご活用を

○価格 1冊 2,800円

○申込先 市教育委員会市史編さん係へ



▼として保存しましょう▲

あたたかい心のまちづくりをめざし! んだ25年



昭和二十九年二月十一日、高浜町と合併、県下五番目(全国で二八六番目)の市として発足。当時式場であいさつする川並要初代市長。



昭和二十九年十二月一日、三村・関川村の合併祝賀会を終って手を取り合う、右より関川村長、飯田武氏、石岡市長、川並要氏。三村村長海東惣一郎氏。

第二次町村合併

躍進大石岡への建設の三・関川両村の合併なる

十二月一日、本市政史上に輝やく三村、関川の二つ村合併の佳き日、三万六千の新田市民が、ひとしく手をたさえて新市建設への力強い第一歩を踏みだしました。

米賣欲進の意を表するかのようになり、また式場の準備は一切なかり、午前十時半から石岡小学校講堂においてピアノの奏でる「君が代」の奇唱により、合併記念式典の幕は切つて落された。

三村・関川両村の合併を知らせる当時の市報。

市制施行当時の子どもたちの遊び。まちかどで夏休みの朝からメンコに興ずる当時の子ども。

昭和29年

- 2月11日高浜町を合併し合併促進法施行全国第1番目の市として発足
- 市民館落成
- 12月1日三村・関川村を合併

昭和30年

- 市営じん芥焼却場完成
- 市長・市議会議員選挙
- 杉並分校を新設完工
- 石岡商工会議所が開所
- 市社会福祉協議会の結成

昭和31年

- 三村地内坂井戸橋竣工
- 新農村建設事業特別助成地域に指定
- 関川統合小学校起工

昭和32年

- 市営火葬場が完成
- 特産家具見本市の開催
- 市内八木地区までバス開通
- 上池公園が完成

昭和33年

- 青年研修所が完成
- 市制施行5周年の記念式典
- 市営住宅20戸が完成

昭和34年

- 東小学校の開校
- 市長・市議会議員選挙
- 石岡家畜市場が完成
- 消防本部発足10周年記念式典
- 新市建設計画に着手

昭和35年

- 東小学校第1期工事が完成
- 有線放送電話の開通
- 染谷・谷向・竹之内線のバス開通
- 三村小学校こども協同組合大蔵大臣表彰
- 府中中学校新築第1期工事が完成

昭和36年

- 東小学校第2期工事が完成
- 常磐線電化、上野～勝田間が開通
- 府中中学校第2期工事が完成
- 「交通安全都市」を宣言

昭和37年

- 城南中学校第1期工事が完成
- 交通安全推進協議会の結成
- し尿処理場が完成
- 青少年問題協議会が発足
- 授産所新築工事が完成
- 「湖北水道組合」を設立、上水道事業着手

昭和38年

- 城南中学校第2期工事が完成
- 市長・市議会議員選挙
- 石岡小学校プールが完成
- 三村地内の大塚橋が完成
- 「市開発公社」を設立
- 県立石岡商業高校第1期工事に着手

昭和39年

- 石岡台地土地改良事業国営調査の開始
- 市立児童館が開館
- 首都圏市街地開発区域に指定
- 市制施行10周年記念式典

昭和40年

- 府中中学校第3期工事が完成
- 石岡中学校体育館が完成
- 山王川都市下水路第1期工事が完成
- 首都圏市街地開発区域整備計画を決定

昭和41年

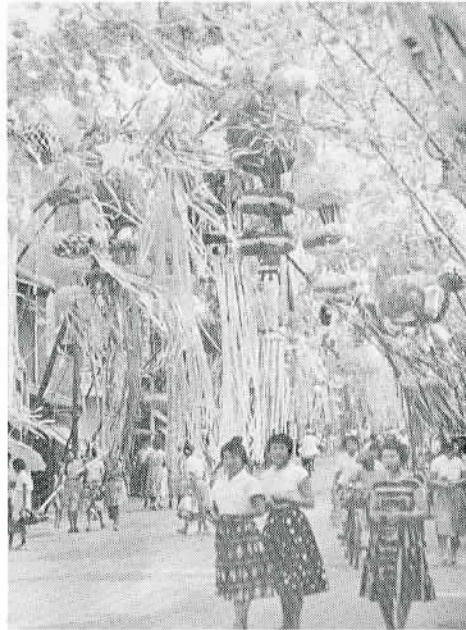
- 城南中学校体育館が完成
- 農業共済事業、市に移譲
- 石岡地区農業近代化施設整備組合を設立
- 三村小学校第1期工事が完成
- 市議会議員の補欠選挙



石岡が誇る「桐だんす」見本市開かれる。(S32～S47)昭和三十一年工業調査では、年産五、八〇〇万円と全生産額の四割をも占め、当時年間生産四、〇〇〇本を誇る桐だんすは、県内はもちろん東京、神奈川、千葉、埼玉からも業者が集まり盛大に行われた。

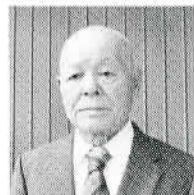


七たまつり。昭和三十年から三十六年まで続いて行われました。(旧香丸町通り)



常磐線上野～水戸、勝田間電化開通。昭和三十六年六月一日、あずき色の交直両用電車がホームに入り、盛大な祝賀を迎えが行われた。

市政あれこれ余話



市内星の宮 齊藤義雄 (初代助役)

(第一話)、全国五百番、町村合併促進法による新市第一号(日光市は第二号)の石岡市は議会在二回も議決するといふ例のない出発であった。というのは故丹羽代議士から届いた町村合併促進法原案のガリ版をもとにして事を進め、二十八年九月二十二日に議決したのであるが、それでは期日が早過ぎて高浜町議員は市議会議員になれないといふことが、正式の同法律の付則(ガリ版になかった項目)で分った。

これでは、高浜はもとの姿に戻りかねない。合併も市制もダメだ。正式の法律を調べなかつた私の責任は重大でまさに切腹ものである。いや切腹ですむことではない。そこで、多年の親友である高木地方課長の指導を仰いだところ、同じ案を二度議決することは出来ないが、幸に施行日を議決しないから今度それを議決すればよいということになり、十月二十八日に市制施行日を建国記念日の二十九年二月十一日とすることに議決したのである。

(第二話) 高浜の合併は、川並町長、鬼沢町長を中心に議員の協力でスラリ成立したが、関川、三村合併は三村編入に反対者があり、県議会が議決をしぶっているで、友未知事に専決してもらった。このように市制施行に際して故山口市議会議長はじめ全議員一致して活動されたことは、うるわしい自治体活動であろう。以上、主な事柄のみ略記したが、まだ語りたことはたくさんあるが残念ながら筆をおく。

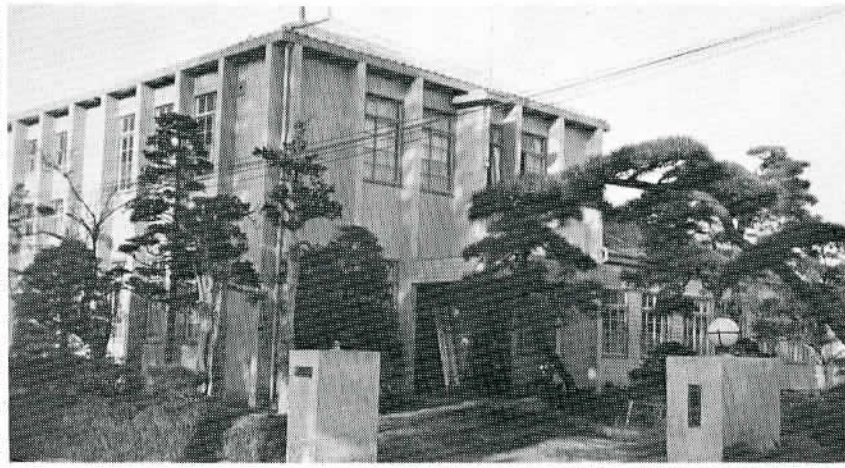
石岡に住んで二十五年



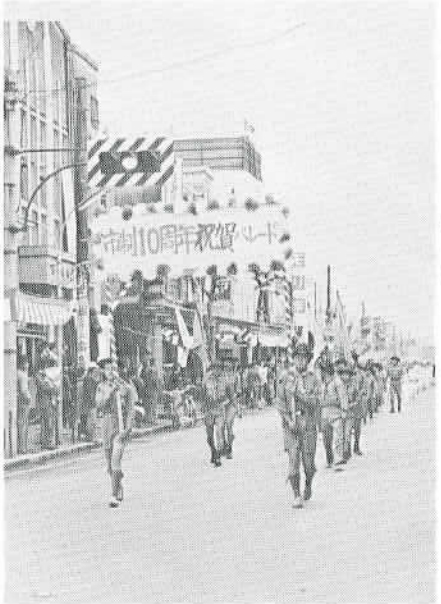
市内木間塚 佐藤嘉勝

私が石岡に来たのは、ちょうど市制施行をした年でした。石岡へ来た当時をふりかえって見ると、よそ者に対する周囲の目は冷たく、生活の違いでつらい思いをしました。しかし、町そのものはこじん

旧市役所庁舎。昭和二十三年六月に建てられた旧庁舎も、二十七年間使われ、昭和五十一年一月に取りこわされました。



住みよい環境・豊かな暮らし みんなと歩



市制十周年記念祝賀パレード。(昭39・11、旧中町通り)
昭和三十九年十二月、首都圏整備法に基づいて、市街地開発区域の指定を受け、明るく住みよい近代的都市づくりを目指し、柏原工業団地の用地買収が積極的に行われ、工業・商業が伸び、上水道の工事が進められました。
またオリンピックが日本で開催された年でもあります。

▼ヒョットコ祭り。(昭和45年11月、旧上橋町通りにて) 昭和42年から昭和49年まで続けられました。



昭和42年

- 府中小学校第1期工事が完成
- 三村小学校第2期工事が完成
- 市立第2保育所が完成
- 山王川都市下水路第2期工事が完成
- 市長・市議会議員の選挙
- 石岡中学校プール完成

昭和43年

- 市民会館が完成
- 石岡小学校第1期工事が完成
- 陣屋門県有形文化財に指定

昭和44年

- 府中橋が完成
- 石岡小学校第2期工事が完成
- 城南中学校プールが完成
- 郷土史跡めぐりの実施
- 営農研修センターが完成
- チビッコ広場が完成
- 三村地区農集電話が開通
- 国分僧寺、尼寺の発掘調査

昭和45年

- 常陸国府跡の発掘調査
- 市民プールが完成
- 老人憩の家が完成

昭和46年

- 都市計画法による市街化区域市街化調整区域の決定
- 老田橋が完成
- 石岡小学校体育館が完成
- 恋瀬川サイクリング道路完成
- 市長・市議会議員の選挙

昭和47年

- 柏原工業団地の完成
- 舟塚山古墳の発掘調査
- 第1回市民号列車の実施
- 農業委員の選挙
- 農振法による農振地域に指定
- 三村・関川小学校にプール完成
- 故元石岡市長川並要氏に初の名誉市民の称号を贈る

昭和48年

- 柏原工業団地の立地企業決定
- 東小学校体育館が完成
- 竜神山霊園の開園
- 第2回市民号列車の実施
- 美しい石岡をつくる市民の会の設立
- 国体バドミントン競技リハーサル大会の開催
- 青少年自然の村、竜神山キャンプ場開設
- 高浜・東小学校にプール完成

昭和49年

- 市庁舎が完成
- 市制20周年記念式典の開催
- 北小学校(旧根当分校)が開校
- 公共下水道事業に着手

昭和50年

- 市民広場が完成
- 消防署北出張所が完成
- 東幼稚園が開園
- 霞台厚生施設組合ごみ焼却施設が完成
- 関川小学校体育館が完成

昭和51年

- 田園都市センター(東田中)が完成
- 市民の歌、市民音頭の発表会
- 住居表示整備事業に着手
- 地籍調査事業に着手

昭和52年

- 湖北環境衛生組合柏山浄化プラントが完成
- 石岡地方斎場が完成
- 湖北水道企業団の新庁舎が完成

昭和53年

- 杉並小学校が開校
- 市営駅東駐車場が完成
- 東大橋原遺跡の発掘調査実施
- 高浜幼稚園の新園舎が完成
- 北小学校体育館が完成
- 石岡駅に「みどりの窓口」開設
- 石岡駅前に自転車置場を設置
- 八軒向区画整理事業が完成



▼サイクリング道路開通。(昭和46年4月) 恋瀬川堤防上に高浜の愛郷橋から八郷町の浦須橋までの約17kmのサイクリング道路が開通、今もたくさんの人々に利用されています。



▲第29回国民体育大会開かれる。(昭和49.10.20-25、石小、石二高にて) 国体秋季大会が茨城県で行われ、石岡市はバドミントンの会場となり競技が行われ、本県はこの競技で3位入賞をかざりました。

▶青少年自然の村竜神山キャンプ場オープン。
昭和四十八年八月に開設以来、子どもたちの野外活動施設としてたくさんの人々に利用されています。
好評だった市民号列車(昭和47・48年実施) 第一回の列車で市民との対話をする現鬼沢市長。



石岡市の発展と私の希望



市内石川 原田ひろ子

私は、石岡市といっても、出島に近い関川地区に住んでおります。私の小学校の頃の思い出が、砂利道でよくころんで、けがをした思い出があります。「どうして早く舗装されないのだろうな」と、良く思ったものでした。

現在は町の様子も、十数年前とかなり違い、市民会館が設立され、市民の広場もでき、道路には花が植えられ、フラワードロができて、また、学生専用歩道が作られ、カーブミラー等も設置され、道路も拡張されました。市の環境衛生については、大

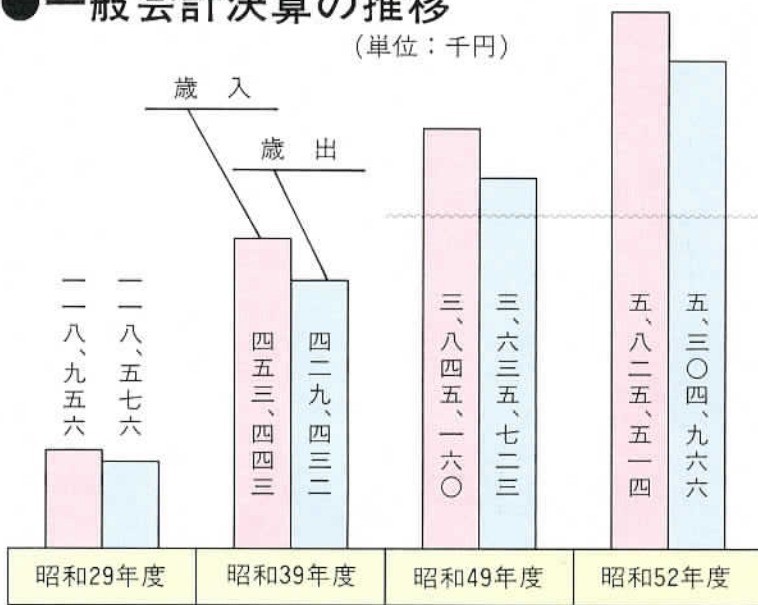
の発展に努力してきた賜物であろうと私は考えます。石岡市では今、下水道工事などいろいろな事業が行なわれ、ますます住みよくなると思います。私は今、石岡市に住んで本当によかったと感じています。これから石岡の歴史は、何十年、何百年と続いていくわけですが、私も石岡に住んでいる限り、いつまでも郷土を愛する心を持ち続けたいと思います。

小さなゴミ処理場を設立して、住みよいまちづくりをと、注意がはらわれています。私達の小さかった頃には、体育館の設立されていた小学校はあまりありませんでしたが、現在では、体育館がどの学校にも設立され、プールも一緒に併設されています。そして、柏原工業団地の造成により、大きな工場ができ、人口も増加し、これからの石岡市には、まだまだ大きなまちづくりが望まれるように思います。

環境衛生、環境美化、教育問題等に力を注ぎ、より美しい緑の多い住みよい石岡市になる市の行政に期待いたします。そして、これからさき、大きな石岡市となり、発展しつづけたいと思います。

●一般会計決算の推移

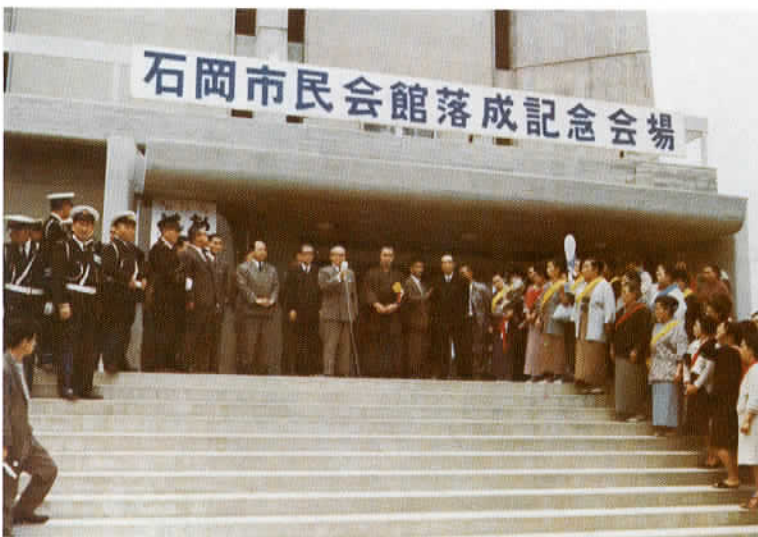
(単位：千円)



▶市制20周年新庁舎落成を祝う。(昭和49年11月)
市制施行20周年と新庁舎落成を祝う記念式典は、新庁舎に、一〇〇名の関係者が参加され、賑やかに挙行されました。またこれを記念して、市民の歌、市の木「けやき」市の花「ひまわり」等が制定されました。

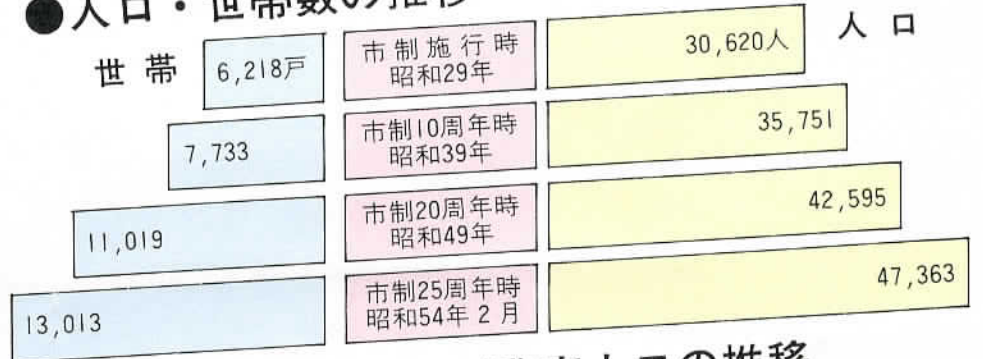


グラフィックでみる街の歩み



▲待望の市民会館が完成。(昭和43年4月)
昭和41年度より着工をしていた市民会館は、総工費2億1,290万円を投じ完成しました。4月29日の落成記念式典から5月5日まで、お笑い名人会などいろいろな催しが行われました。

●人口・世帯数の推移



●専・兼別農家数および農家人口の推移



●児童・生徒数の推移



●工業の推移



●商業の推移 (飲食店を除く)



▲メディカルセンター間近く完成。(完成予想図) 地域医療実践の場として5月末完成を目指し工事が進められております。県と市の保健サービス機関が1カ所に集まり、利用者の利便と市民の健康増進が図られます。